



会長 古賀 健一郎  
副会長 古田 和彦  
書記 古賀 健一郎  
会計 大高 治  
直前会長 古田 和彦

国際会長 (IP) Kim Sang-chaе (Korea)

“Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長 (AP) 大野 勉 (神戸ポート)

“Make a difference beyond the 100th”

「100年を越えて変革しよう」

東日本区理事 (RD) 大久保 知宏 (宇都宮)

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

“Think for the next generation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「咲かそう 人の輪〜明るく・楽しく・元気よく〜」

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「今こそ『すべての人を一つにして下さい』(ヨハネ17章)を覚え、平和への行動を！」

“Now, keeping 『All be one with each other』 (John 17), Act for peace!”

監事 松島 美一  
ブリテン 伊藤 誠彦  
担当主事 青木 英幸

### <今月の聖句>

古賀 健一郎

主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない。  
主はわたしを青草の原に休ませ、憩いの水のほとりに伴ひ  
魂を生き返らせてくださる。  
主は御名にふさわしく、わたしを正しい道に導かれる。

(詩編23章1〜3節)

### 今月のひとこと

#### 「自らの弱さを共有する」

押川 幸男



現在、私は小規模認定こども園と大規模認定こども園の2つを兼務していますが、今まで経験したことのないコロナ禍の中で、できる限りの感染防止対策をして保育を行なっています。園の行事や研修もある程度制限したり、中止することもありました。そのような中で、実習生の受入もある程度制限せざるを得ませんでした。両園とも9月に責任実習生を受け入れました。結果的に、両園共に実習生が責任実習担当の日の朝に、吐き気や高熱でお休みしました。一人は、2日程、もう一人は一週間ほどお休みしたようです。

両園にとって、初めての事だったようです。実習生の精神

面の弱さが影響しているのかどうかは、わかりません。ただ一園では、そのような判断になるかと思いますが、2園で同じ時期に同じようなことが起こると、話は違ってきます。確かに、実習生本人のメンタルの弱さかもしれません。しかし、実習生の環境を少し想像してみると、昨年一年間はコロナ禍の中で、学校の授業も中止になり、観察実習も中止になり、友人や先生との直接会話もなく、孤独な日々を過ごしていたのかも知れません。今年になっても、10月8日まで緊急事態宣言発出等で、先の見えない不安な状況にありました。ようやく緊急事態宣言が解除されましたが、多くの学生にとって、すぐにコロナ禍以前の状態に戻ることは、容易ではなかったと思います。

そのような中で実習を迎えた学生たちの精神状態を園側が真剣に考えるべきだったのかもしれない。園としては、子どもたちの安心安全な環境を守ることに力を注いでいたのですが、実習生の置かれた環境にも配慮する想像力と共感が足りなかったように思います。

実習生がコロナ禍でこれまでにない孤独感や不安を抱いて実習に臨んでいたことに、十分に思いを馳せていなかったのではないかと反省しています。

そのような中で、ドイツのメルケル首相が国民に向けた演説を思い起こしました。「何百万人もの方々が職場に行けず、お子さんたちは学校や保育園に通えず、劇場、映画館、店舗は閉まっています。なかでも最もつらいのはおそらく、これまで当たり前だった人と人の付き合いができなくなっていることでしょう。もちろん私たちの誰もが、このような状況では、今後どうなるのかと疑問や不安で頭がいっぱいになります。」彼女は、国民を直接的に「もう少し頑張りましょう」と励ますのではなく、「不安」を共有しようとします。「私たちの誰もが」という言葉の中には、メルケル自身も含まれてい

## <2021年10月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
12名	メン 9名 メネット 1名 コメット 0名 ビジター 2名 ゲスト 0名 合計 12名	83 % (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円	

## <11月の行事予定>

### ASF ファミリーファスト

日	曜	時間	行事内容	場所
6-20	木		チャリティーラン	オンライン
11	土	18:30	横浜クラブ第一例会	Zoom
23-30	木		ウェルカムフェスタ	中央 YMCA
25	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
27	土	14:00	第2回部評議会	Zoom

ます。彼女は、自らの弱さを告白しています。さらに医療従事者への感謝の言葉を述べた後、まったく異なる現場の人にも感謝の言葉を以下のように述べています。

「さてここで、感謝される機会が日頃あまりにも少ない方々にも、謝意を述べたいと思います。スーパーのレジ係や商品棚の補充担当として働く皆さんは、現下の状況において最も大変な仕事の一つを担っています。皆さんが、人々のために働いてくださり、社会生活の機能を維持してくださっていることに、感謝を申し上げます。」

彼女の想像力と共感力と国民すべての人への敬意が溢れる演説に深い感動を覚えました。今回の件で、私自身が「自らの弱さを共有すること」が共感を生み、周りの方々とのつながりを深めていくことに改めて気づかされています。

## 「10月第一例会報告」

伊藤 誠彦

日時：10月14日(木) 15:00~16:20

開催方法：Zoom 例会

出席者：青木、秋元、伊藤メン・メネ、大高、古賀、齋藤、佐竹、古田、松島

ビジター：小原史奈子(東京たんぽぽ)、高田一彦(千葉ウエスト)

今例会は横浜Y専門学校に学ぶ留学生との交流を図るため、時間を繰り上げて開始。横浜Yで学ぶ留学生支援は今年度の横浜ワイズの最重要活動方針の一つである。そのためには留学生のことをもっと知らなければならない。

今回、協力してくれたのは日本語スピーチコンテストに出場した、チャウハン・プラディーブ(インド)、チン・ハイキ(台湾)、イ・ジフン(韓国)の3名。青木校長の司会で予め留学生宛てにワイズから提出しておいた質問に対して留学生が答える一問一答形式で、①典型的な一日の過ごし方、②生活費の状況、③日本語科卒業後の計画、④どのような支

援が望ましいか、等々について話し合った。

典型的な一日の過ごし方は、YMCAでの授業終了後はコンビニ等でアルバイト、その後、家で勉強というもの。生活費は親から仕送りを受けている者もいるが、アルバイトに依存。卒業後は日本語を生かして仕事をしたい。中には会社を起業して社長さんになりたいという人も。望ましい支援としては、やはり正しい日本語を話す機会の増加。日本人の家庭にホームステイしたり、一緒に食事をする機会を作ったりすること。チューター制度の充実もその一つであるが、新型コロナ禍の今日ではZoomによるオンラインが主流、やはりリアルによる対面方式が望ましいとしている。

留学生との交流の後はビジネスの話。11月、12月例会の持ち方をはじめ、懸案事項について話し合った。11月例会は青木担当主事による「YMCAとワイズの連携強化」に関する提言を卓話していただく。今例会の成果を受けて、より一層実効性のある議論ができることが期待される。

尚、留学生との交流の様子は、佐竹総主事が総主事マンスリーレポート11月号で紹介されています。是非、ご一読下さい。

## 「第25回湘南・沖縄部部大会報告」

古田 和彦

本年度の部大会は、10月23日(土)14:00から16:30、湘南・とつかYMCA1階ホールに集まった約30名と、Zoom参加の20名弱、いわゆるハイブリッドで行われた。全体司会は部書記の板崎淑子ワイズが務めた。

第1部、講演「新型コロナウイルスとの向き合い方」と題し、講師は泌尿器科医師で、横浜YMCAが事務局を務めるAIDS文化フォーラムの第1回(28年前)から中心的な指導者として、また、公衆衛生(感染予防)の専門家として導いてくださっている岩室伸也医師である。

講演では、感染予防の基本に立ち返り、三蜜回避、マスク着用、手洗い・うがいなどの基本的考え方、また、どんな対策もパーフェクトではあり得ず、確率の問題であることなど、豊富なデータを示して話された。また、エイズ問題同様、偽りの情報に基づくデマ、偏見、差別が起きていること、そのような情報に惑わされることなく正しい情報を信じる大切さを訴えられた。関心のある今日の問題であり、質問も多く、中身の濃い内容で、15:30終了した。

次いで、第2部として第25回部大会となった。板崎書記の司会により、若木一美部長の開会点鐘につづいてワイズの信条を全員で唱和し、阿部正伴担当主事が祈禱をささげて開会した。部長挨拶の後、来賓挨拶。まず、Zoom参加の東日本区理事大久保知宏ワイズから、「絆」を大切にしたいこと、湘南・沖縄部から区役員として運営に協力している方々への感謝などの挨拶があった。ついで、横浜YMCA佐竹博総主事から挨拶。ワイズメンの日頃の横浜YMCAへの協力に感謝すると述べた後、講演との関係で、「ソーシャルディスタンス」との用語は、社会の分断をも含む用語ととらえられる恐れがあり「フィジカルディスタンス」との用語がふさわしいのでそのように使用したいこと、SDGs取り組みを進めているが、感染予防の観点からはお茶の紙パック使用について考えさせられた旨挨拶された。

報告、連絡に入り、まず、部の事業主査から。会員事業の鈴木茂主査から、つるみクラブに横山裕二さん（職員）の入会の報告があった。地域奉仕・Yサ事業日下部主査から、CS・Yサ事業支援金申請書が示され、11月10日までに申請してほしいとの要請があった。

エクステンション委員会辻委員長からは、第1回委員会を9月に開催し、会員増強目標数を沖縄2クラブが抜けたことに伴い、150名から130名に変更するとの報告があった。

次いで、若木部長から、①東日本区から災害時の安否確認方法の報告を求められている事、②11月27日（土）に第2回部評議会を開催する事、③新年会は今日の情勢にかんがみ中止する事、④次次期部長の推薦・立候補を8月末までとしていたが申し出がないので、Aグループから金沢八景クラブの黒川勝ワイズを推薦する事、⑤部長公式訪問を行いたいので各クラブ可能日を知らせてほしい事、とのことであった。

YMCAからは阿部担当主事から次のように報告された。

①ユースボランティアリーダーフォーラム（YVLF）は予定通り9月にZoomにて開催、横浜YMCAからは15名のリーダーが参加した、②チャリティーランの締め切りが迫っている。個人参加もあるので申し込みをお願いします、③国際・地域協力募金やフェスタが各YMCAで展開されるので協力



をお願いします、とのことであった。また、各クラブからの報告は特になく、16:30、小松次期部長の挨拶で閉会した。その後、記念撮影を行った。

横浜クラブの参加者 会場：佐竹、古田、Zoom：青木、伊藤メン・メネ、古賀、齋藤

## 「一日本語教育者から見た『聖書』の日本語」その後

秋元美晴



5月13日に開かれた横浜クラブの例会の卓話で「一日本語教育者から見た『聖書』の日本語」と題してお話をさせていただいた。その時に横浜つばきクラブの社会長より、10月の横浜つばきクラブの卓話で同じ話をとということ

で、10月22日にお話させていただいた。

しかし、まったく同じ話では申し訳ないので、この際、5月の話をもう少し充実させ、お話をさせていただき、ついでにそれを大学の『紀要』の研究レポートとしてまとめてみよ

うと思った。コロナ禍で外出もままならないので、ちょうどよい機会だった。

5月の卓話の折、斎藤由也氏より伺った1946年（昭和21年）に公布された憲法前文でも「・・・平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して・・・」と使われているということも気になっていたし、「報い」も『国語辞典』では、「ある行為の結果として身に跳ね返ってくる事柄。現在では、悪い行為をした場合に言うことが多い」とあるが、実際にはそのとおりのかという疑問もあり、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」や「日本語歴史コーパス 明治・大正編」などの大型データベースを援用して調べてみることにした。

その結果、とても面白いことが分かった。まず、憲法前文の「・・・公正と信義に信頼して」であるが、この表現については、2014年10月30日の衆院予算委員会で石原慎太郎氏が「・・・に信頼して」の「に」を間違いだと指摘し、「・・・を信頼して」と修正してはどうかと問い質した。それに対して、安倍晋三首相は一字のためだけに憲法改正に踏み込むわけにはゆかぬとし、「『に』の一字だけか、どうか『忍』の一字で・・・」と矛先をかわしたそうである。

次に「報い」であるが、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」には「・・・母の愛は変わりません。何の報いも求めないで、子供のためにエネルギーを費やすことでしょう」のように良い行為をした場合にも使われている例が全体の26%もあった。

悪い行為をした場合のほうが70%と多いが、私が予想していたよりも「報酬」の意味で用いられていることがわかった。なお、これらのことを『紀要』にまとめることもできた。これも5月に卓話で話をさせていただいたおかげで、改めて感謝する次第である。

## 第二例会報告

大高 治

日時：10月28日(木)17:00~18:30 (Zoom 例会)

出席者：青木、伊藤、大高、古賀、古田

1. 行事予定の確認

11月26日（金）はDBC 締結予定の熊本スピリットクラブからの来訪者（2名）と当クラブの有志との会食を予定。

2. 協議・報告事項

1) 11, 12月の例会について

① 11月11日（木）の第一例会はZoomとし、卓話者の青木横浜YMCA 学院専門学校校長には9月23日付の「ワイズクラブへの依頼事項」についてご説明して頂く。横浜クラブとの連携強化のため、湘南・沖縄部にも連絡する。（会合の形態についてのYMCAの方針は、密にならなければ対面会合も可。Onlineのハイブリッドも可）

② 12月18日の横浜YMCA クリスマス礼拝は、横浜クラブの12月第一例会を兼ねることとする。

2) 横浜中央YMCA インターナショナル・チャリティーラン

今年日本語学科の留学生応援のための5万円の他、学童支援に5万円を提供する。

- 3) 横浜中央YMCA ウェルカムフェスタ・ウィーク 2021  
今年度は11月23日(火・祝)～30日(火)の間、ミニバザーと日程を分けてイベントが開催される予定。当クラブは3万5千円(お菓子用)の予算がある。
- 4) 熊本スピリットからの来浜者2名の対応  
「行事予定の確認」に記載の通り11月26日、役員と有志による宴会を予定。お客様は接待扱いとする。
- 5) 大阪長野クラブの45周年(来年)対応  
・日程その他詳細問合せ中。
- 6) ブリテン11・12月号編集計画伊藤ワイズ案を確認。
- 7) ロースター代用のワイズ全会員住所録5冊の購入依頼があり、会長、副会長、会計、担当主事、ブリテン担当用として発注済み。1冊700円+送料となる。
- 8) ワイズメンズへの入会希望者、日比保史様(30歳代)の件  
① 横浜クラブではなく他のクラブに入会希望ということもあるかも知れないが、積極的に勧誘したい。2～3度会合に参加してもらった後、入会を決めて頂くようにしたい。当クラブには30歳代の会員がおり、若手の増加は歓迎。  
② SDGsに造詣がある由。YMCAも大事にしているテーマにつき、卓話をお願い出来るように持って行きたい。
- 9) 継続審議事項  
① 広報についての具体的な施策  
・ホームページ、リーフレットの作成は必要。  
・ホームページの更新には横浜YMCA日本語学科の学生さんに協力して頂けたら有難い。  
② 秋元美晴さん、青木英幸さんの正式な入会式の日程  
③ 熊本スピリットクラブとのDBC締結式の日程
- 10) その他  
① ICS支援金申請は3万円で提出する。  
② クリスマスに訓盲院、水上学園に贈る予定のお菓子代は予算措置済。  
③ 青木担当主事より佐竹総主事の総主事マンスリーレポート11月号に、留学生とワイズの交流の紹介記事があると報告がありました。



担当主事 青木 英幸

10月の横浜ワイズメンズクラブ第1例会は、初めての試みでしたが日本語スピーチコンテストに参加した日本語学科の留学生3名とワイズメンズクラブの皆さまと交流する時間を持って感謝いたします。学生たちは質問に対し返答する日本語の言葉を一生懸命考えて対応していました。

彼らの生の声を通して留学生の生活やアルバイト事情、日本語学習の進め方などを知っていただく良い機会になったかと思えます。いつも留学生たちに積極的に関わりご支援いただきましてありがとうございます。

10月26日(火)に留学生を中心とした国際情報ビジネス科2年生「模擬事業説明会」を開催しました。

6グループに分かれ、①使い捨ての缶ビン等を使わない自販機販売、②新鮮食品が買える「新鮮コンビニ」の運営、③多

国籍料理(ベトナム・ネパール・インドネシア3国)レストラン運営、④スマートフォン向け格安SIMカード販売、⑤商品情報配信と配達サービスアプリケーションの開発・運用、⑥恋愛応援コンサルティング事業・プロポーズサポート事業の運営と、自分たちが考えた会社を立ち上げスポンサー獲得のためのプレゼンテーションを競いました。

質疑応答も含め1グループ30分間の発表を行い、自分たちの経験を生かした留学生ならではの視点やSDGsの貢献を意識したものと様々な内容でした。

当日はワイズメンズクラブより大高ワイズに審査委員として、長時間お付き合いいただきましてありがとうございました。様々な角度からの質問や多くのアドバイスをいただき、学生たちにとって本当に良い経験となりました。

12月4日(土)13:00～14:30に横浜YMCA専門学校クリスマス礼拝をオンライン(ZOOM)で実施する予定です。

詳細が決まりましたらご案内させていただきます。これからも学生たちの行事等に関わっていただく機会を設けていきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

11月例会プログラム

日時: 11月11日(木) 18:30～20:15  
場所: Zoom 開催

司会: 大高ワイズ

- 1.開会点鐘及び挨拶 . . . . . 古賀会長
- 2.ワイズソング・ワイズの信条 . . . . . 全員
- 3.今月の聖句 . . . . . 松島ワイズ
- 4.ゲスト・ビジター紹介 . . . . . 古賀会長
- 5.卓話  
「横浜Yと横浜クラブのさらなる連携強化の模索」  
青木 英幸 横浜YMCA 学院専門学校校長
- 6.ビジネス・報告 . . . . . 古賀会長
- 7.Happy Birthday 大高幾子、伊藤比朗美、押川幸男、伊藤誠彦
- 8.閉会点鐘 . . . . . 古賀会長

例会報告: 齋藤ワイズ

12月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
7	火	19:00	第92回Y-Y's協議会	Zoom
18	土		横浜クラブ第一例会 横浜Yクリスマス礼拝	紅葉坂教会
23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 青木英幸にご連絡下さい。  
メール [aoki\\_hideyuki@yokohamaymca.org](mailto:aoki_hideyuki@yokohamaymca.org)  
電話 045-661-0080